

# 高知県の地震

## 目 次

### 高知県の地震活動

震央分布図及び断面図	1
地震概況	1
高知県で震度 1 以上を観測した地震と各地の震度	2
高知県で震度 1 以上を観測した地震の震度分布図	3

### 地震一口メモ

緊急地震速報に活用する海底地震観測点の追加について	4
---------------------------	---

※「高知県の地震」は月 1 回発行するもので、高知県及びその周辺の地震活動状況をお知らせすると共に、適宜、社会的に関心の高い地震について解説します。また、「地震一口メモ」で地震防災知識等の普及に努め、皆様のお役に立つことを目的としています。

※この資料の震源要素及び震度データは、再調査された後に修正されることがあります。

※本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。

また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022 年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、2025 年トカラ列島近海における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（平島、小宝島）、EarthScope Consortiumの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

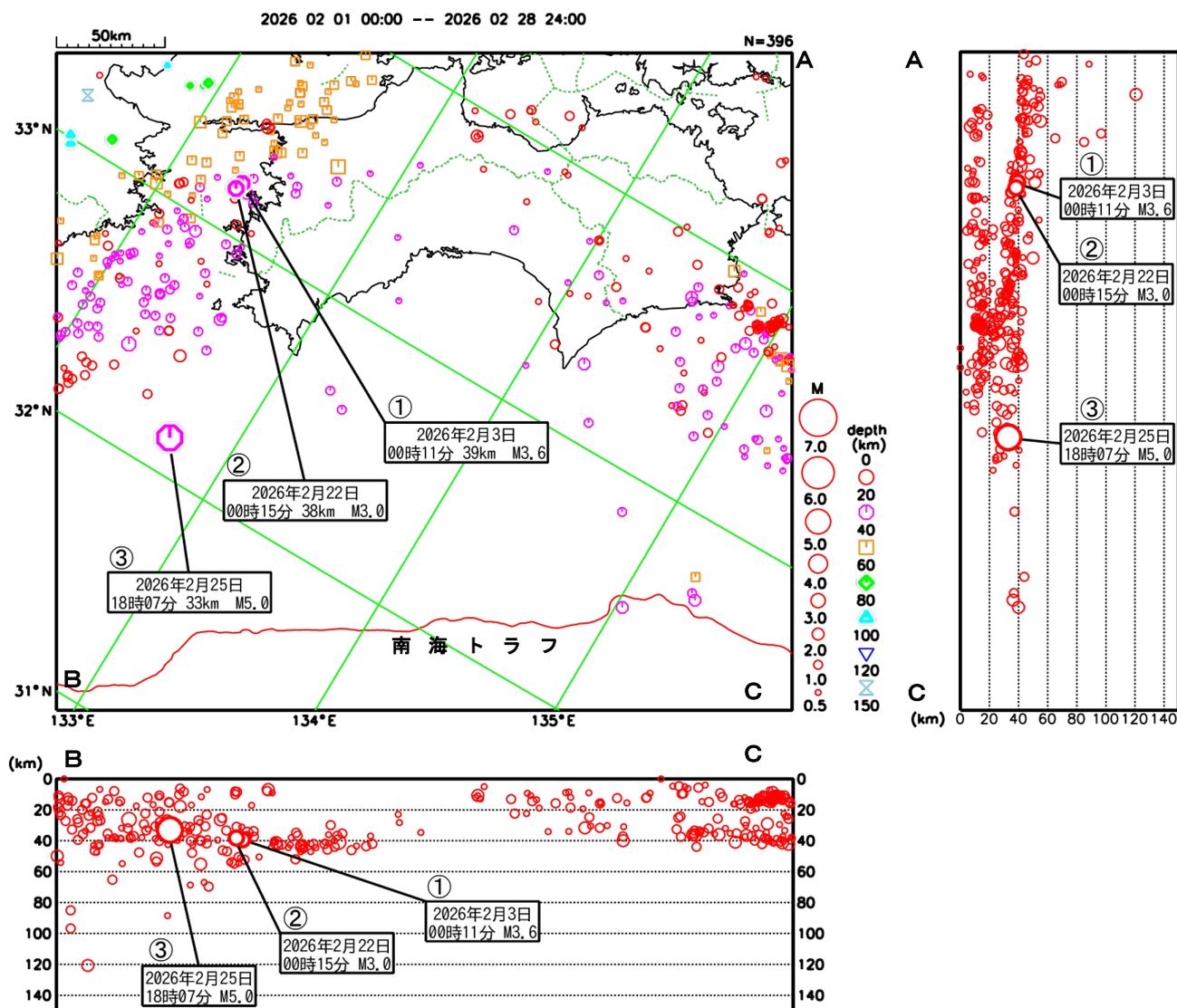
2026年(令和8年)2月

高 知 地 方 気 象 台

# 高知県の地震活動

## 「震央分布図及び断面図」

(2026年2月1日～2月28日)



震央分布図では、地震の規模を示すマグニチュード(M)はシンボルの大きさで表しています。震源の深さはシンボルの形と色を深さに応じて変えて表しています。右上の「N」は図中に表示しているシンボルの数(地震の回数)、右の「depth」は地震の深さの凡例を示しています。

断面図(右図及び下図)は、震央分布図範囲内の地震の北北西-南南東(A-C)方向断面図(右)と西南西-東北東(B-C)方向断面図(下)を表し、それぞれの地震の震源の垂直分布を表しています。

## 「地震概況」

2026年(令和8年)2月に、高知県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震は3回でした(前月は4回)。

3日00時11分、豊後水道の地震(深さ39km、M3.6、震央分布図①)により、宿毛市で震度2を観測したほか、四万十市で震度1を観測しました。その他に、愛媛県で震度2～1を観測しました。

22日00時15分、豊後水道の地震(深さ38km、M3.0、震央分布図②)により、宿毛市で震度1を観測しました。その他に、愛媛県で震度1を観測しました。

25日18時07分、四国沖の地震(深さ33km、M5.0、震央分布図③)により、宿毛市・土佐清水市・黒潮町で震度1を観測しました。また、大分県・熊本県・宮崎県で震度2を観測したほか、中国・四国・九州地方で震度1を観測しました。

注) 地震概況にある数字は、「震央分布図」、「地震の表」及び「震度分布図」の番号に対応しています。

# 「高知県で震度 1 以上を観測した地震と各地の震度」

2026 年 2 月

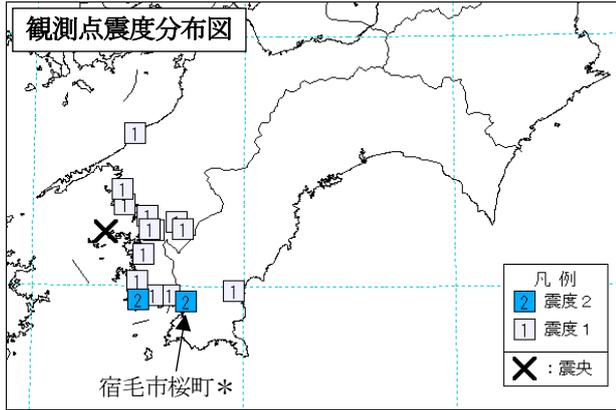
発震時刻 (年月日時分) 各地の震度 (高知県内のみ掲載)	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
① 2026 年 02 月 03 日 00 時 11 分 高知県 震度 2 : 宿毛市桜町* 震度 1 : 四万十市古津賀*	豊後水道	33° 12.8' N	132° 20.8' E	39km	M3.6
② 2026 年 02 月 22 日 00 時 15 分 高知県 震度 1 : 宿毛市桜町*	豊後水道	33° 10.9' N	132° 20.1' E	38km	M3.0
③ 2026 年 02 月 25 日 18 時 07 分 高知県 震度 1 : 宿毛市桜町*, 土佐清水市足摺岬, 土佐清水市松尾*, 黒潮町佐賀*	四国沖	32° 08.9' N	132° 42.2' E	33km	M5.0

注) 観測点名の\*印は、気象庁以外 (高知県または国立研究開発法人防災科学技術研究所) の震度観測点です。

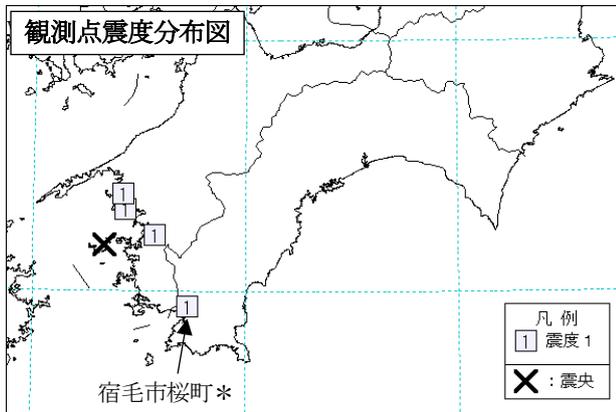
# 「高知県で震度1以上を観測した地震の震度分布図」

2026年2月

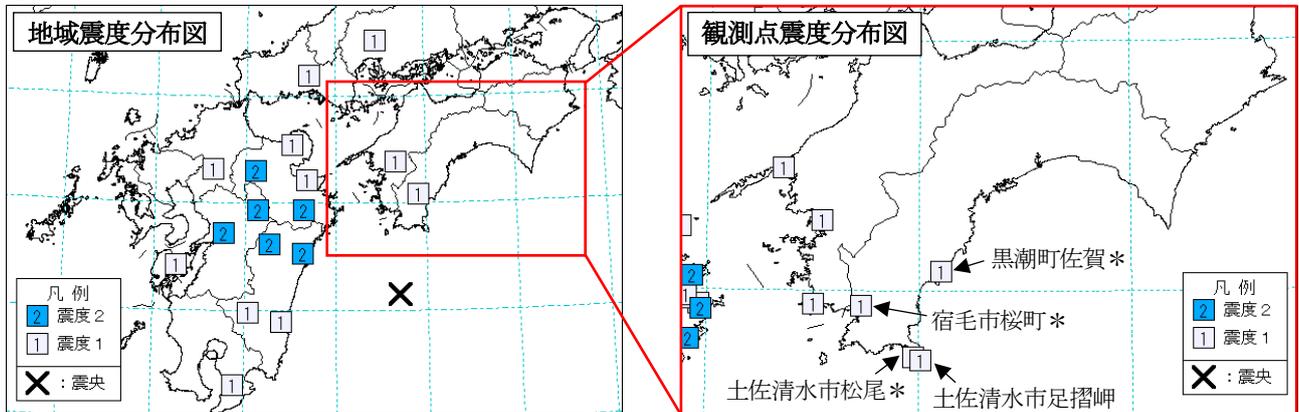
① 2026年02月03日00時11分 豊後水道 深さ39km M3.6



② 2026年02月22日00時15分 豊後水道 深さ38km M3.0



③ 2026年02月25日18時07分 四国沖 深さ33km M5.0



注) 観測点震度分布図には、県内で最も大きい震度を観測した観測点名を記載しています。  
 観測点の\*印は、気象庁以外(高知県または国立研究開発法人防災科学技術研究所)の震度観測点です。

## 「地震一口メモ」

### 緊急地震速報に活用する海底地震観測点の追加について ～「南海トラフ海底地震津波観測網（N-net）沿岸システム」の活用開始～

気象庁では、令和8年3月12日から、国立研究開発法人防災科学技術研究所が高知県沖から日向灘に整備した「南海トラフ海底地震津波観測網（N-net）」の地震観測データについて、既に活用を開始していた「沖合システム」のデータに加えて、新たに「沿岸システム」のデータも緊急地震速報への活用を開始しました。

これにあわせて、海底地震観測点を活用している海域の震源推定に用いる地下構造モデルについて、海域に特化したモデルへと高度化しています。これらによって、N-net が展開されている高知沖から日向灘付近を震源として発生する地震について、緊急地震速報の発表の迅速化や精度向上が期待されます。

また、N-net の地震観測データは、津波警報（第1報）等に用いる震源の推定にも活用しています。

#### ○南海トラフ海底地震津波観測網（N-net）

N-net は高知県沖から日向灘にかけての海底に展開された地震津波観測網で、「沖合システム」、「沿岸システム」の二つのサブシステムから構成されています。二つのサブシステムは、「沖合システム」、「沿岸システム」の順に、令和6年6月、令和7年6月に敷設が完了しました。各サブシステムは、観測ノードと呼ばれる18個の観測点がケーブルで繋がれ、高知県室戸市及び宮崎県串間市の二つの陸上局で陸揚げされています。各観測ノードには地震計や津波計（水圧計）が搭載されており、リアルタイムに24時間連続で地震観測データと津波観測データとを取得できるようになっています。

#### ○N-net による観測データの活用について

気象庁では、敷設が先行して行われたN-net「沖合システム」の観測データについては、令和7年10月の時点で緊急地震速報および津波情報等の発表に活用していました。また、「沿岸システム」の津波観測データについても、令和7年11月から津波情報等へ活用しています。

今回、「沿岸システム」の地震観測データも、データの品質管理などの情報発表へ活用するための準備が終了したことから、緊急地震速報への活用を令和8年3月12日から始めました。これにより、四国沖から日向灘にかけて発生する地震に対して発表する緊急地震速報（警報）が、これまでより最大で6秒程度早まることが期待されます（詳細は下の青囲内のURL（上）参照）。なお、「沖合システム」を含むN-net全体を活用することで、緊急地震速報（警報）の発表はN-net敷設前に比べて最大20秒程度早まることが期待されています。

あわせて、海域は地下の構造が陸域と大きく異なるため、海底地震観測点を活用している海域の震源推定に用いる地下構造モデルについて、海域に特化したモデルに高度化しています。これによって、緊急地震速報に関連する震源推定の精度向上が期待できます。

また、N-net 地震観測データは、津波警報（第1報）等に用いるような、大きな地震発生直後の震源の推定にも新たに活用することになりました。今後は、大きな地震発生直後の震源推定だけでなく、規模が小さな地震を含めた、ルーチン的な震源の決定にもN-net 地震観測データを活用していく予定です。

緊急地震速報に活用する海底地震観測点の追加 についての報道発表資料(気象庁ホームページ)

[https://www.jma.go.jp/jma/press/2603/06b/20260306\\_N-net.pdf](https://www.jma.go.jp/jma/press/2603/06b/20260306_N-net.pdf)

定期刊行物 高知県の地震（高知地方気象台）

<https://www.data.jma.go.jp/kochi/kankoubutsu.html>